

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	ドイツ フランクフルト
滞在都市 (☆)	フランクフルト
留学先大学等名 (☆)	ゲーテ大学
留学先での所属学部/研究科 (☆)	経済学部
留学先で主に使用した言語	ドイツ語・英語
渡航先への入国日 (☆)	2018年09月03日
渡航先からの出国日 (☆)	2019年08月29日
渡航先国での滞在期間 (☆)	1年弱
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	1~3%
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	
履修科目の制限等（あれば）	
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	

語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	
授業内での留学生に対するサポート等	
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	
図書館について	カバン類はすべてロッカーに入れてからのみ使用可能。
保健センター等の有無	
クラブ・サークル等について	スポーツのコースを受講可能。私はヨガを受講した。
留学生へのサポート	
オリエンテーション等学校主催の行事について	
現地の学生との交流について	
他の留学生との交流について	
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	必要
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	申請は入国後に必要書類を揃えてから行う。到着後二週間以内に住民登録を済ませ、銀行口座開設や保険加入等必要事項を満たし次第、必要書類を持って外国人局に早朝から並ぶ。予約も可能だが、フランクフルトは外国人が多く、最短で可能な予約日が半年先などの異常な場合が多いため、当日に並ぶのを奨励する。住民登録からビザ取得までの所要期間は、銀行や保険にもよるが、長くて1ヶ月見ておけば安全。申請日は混み具合にもよるが、並ぶ時間を除けば、1時間から2時間半ほどかかり、当日から即座に有効となる。
利用航空会社	KLM
入国の際の現地空港名	Flughafen Frankfurt am Main

空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	トビタテ JAPAN
奨学金月額受給額（円）	16万(10ヶ月分)
入国時に用意した金額	現金 500€ カード 300€ 程
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	VISA
留学中に利用した銀行名	Sparkasse
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	
デビットカードの使用について	
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	800~1000€
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	WG（3人のルームメイトとシェアハウス）
家賃	250~400€（契約期間のために引っ越しを伴ったため、月により異なる）
住居を探した方法・時期	5月末
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊
1ヶ月の食費	300~400€

その他	
-----	--

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	スーパーALDIでSIMカードを購入し、本体は元のものを使用。
インターネットについて (Wi-Fi 環境等)	学生寮ではケーブルを購入し、PCにつないで使用する形式。
コンピュータについて	
郵便について	
交通機関について	学生証で Hessen 州内では全ての公共交通機関が利用可能なので、学生証を常に持ち歩く。
治安について	
保険について	
医療機関・薬について	薬局が土曜日は午後2時まで、日曜日は休みなので、緊急用の薬は日本から持参する。
気候と服装について	
普段の買い物について	
娯楽・行事について	
日本語の使用について	月2、3回の家族や日本の友人との近況報告以外では、会話での使用は一切しなかった。ニュースやソーシャルメディアの使用にもよるが、自分次第でいくらでも避けることができる。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	電子辞書、紙の辞書
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について(セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	
留学中の就職活動について(海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターシップ等)	

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学 能力試験対策等	語学の勉強はしておいて本当に良かった。ビザの取得の際や日常生活での体験からも、いくら英語が話せると言っても、ドイツ語で話す方がより近い関係が築けると感じた。
留学中の学習方法、 工夫したこと等	友人や学校の同僚との会話は基本的にドイツ語
留学後にどれぐらい語学力 が伸びたか（主観的な実感や 具体的なスコア等）	

8. その他

留学して得られたこと	
留学中に困ったこと	
留学前/留学中に参考になっ たウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

留学を決めた理由

1年の時、第二外国語でドイツ語を学びはじめたのをきっかけに、ドイツへの興味が湧き、いつかドイツに住んでみたいと考えるようになったが、一年の頃は大学間の留学を考えていた。2年になり、開発経済の授業を通して環境問題や発展途上の問題を取り扱う経済学があることを知り、特に環境問題関連の経済学に興味を持つようになった。大阪大学での授業では環境関係の経済学の授業が他の大学に比べてあまりないため、部局間での留学の必要性を考えるようになった。ちょうど自分が2年生の時に、初めて経済学部の部局間派遣先にドイツのフランクフルトのゲーテ大学が加わり、自分の代が初代になるということを知り、運命的なものを感じたのもあり、留学を決めた。

留学前の学習態度

もともと外国語が得意だったのもあるが、大学の授業以外にあれもこれも手に出すのではなく、大学で受講できる英語や第二外国語の授業を常に特に真剣に取り組み、時間と機会を無駄にせずに語学力を高めるようにした。

より留学内容を濃くするためには、やはり母国語を話せる方がいいと考え、余暇の大半をドイツ語の独学に費やした。大学の第二外国語の授業も受講し、かなり役に立ったが、日常会話より上のレベルは独学した部分が多い。

希望者が複数いると聞いていたので、大学の成績には特に注意した。自分の興味がある分野だけでなく、幅広い分野で興味を持って学習するように心がけた。

現地で履修した授業の感想

正直に言って、「難しい」の一言。ドイツ到着後初日に、ドイツ人の大学一年生のルームメイトが「平日も週末も図書館で勉強している。」と言ったのを聞いて驚いた覚えがあるが、1ヶ月ほど経過した時点で、本当にそうする必要があることがわかった。特に阪大の授業に比べて、授業内では説明されない、自習しなければならない部分が多いと感じる。目的だった環境問題に関する授業以外にも、ジーマンスや有名企業の方々による授業や労働市場に関する政策についての授業など、本当に面白い授業がたくさんあり、一年だけではなく、こっちの大学院に入りたいとさえ思うようになった。数学や統計の知識をかなり頻繁に使う。

日常生活での発見

直接的な人が多い。留学生以外の人と交流したい場合は自分から行かないとあまり機会がない。

苦勞したこと

留学生にはバディープログラムなどあるが、ビザ申請や保険など、実際に必要なことについてはあまり助けてくれる人がいないので、最後は自己責任でやらなければいけない。試験がパソコンの場合があり、苦勞した。

メッセージ

私の場合は、この留学をしてから、今までで一番勉強が面白いと思うようになったので、チャンスがあれば、みなさんにもぜひ経験してほしいです。